

津別町の観光と エネルギーと社会教育と

現在インターネットで公開中！ 町のHPをご覧ください



この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信（月1回）することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、道の駅あいおいに設置された「デジタルサイネージ（映像看板）」でも視聴することができます。※タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。

毎月末日
ごろ更新

《取材希望企業・飲食店・生産者募集!! 詳しくは役場住民企画課まで》
問い合わせ先 住民企画課 企画係 14 番窓口 ☎ 77 - 8374

木登りの魅力に触れる

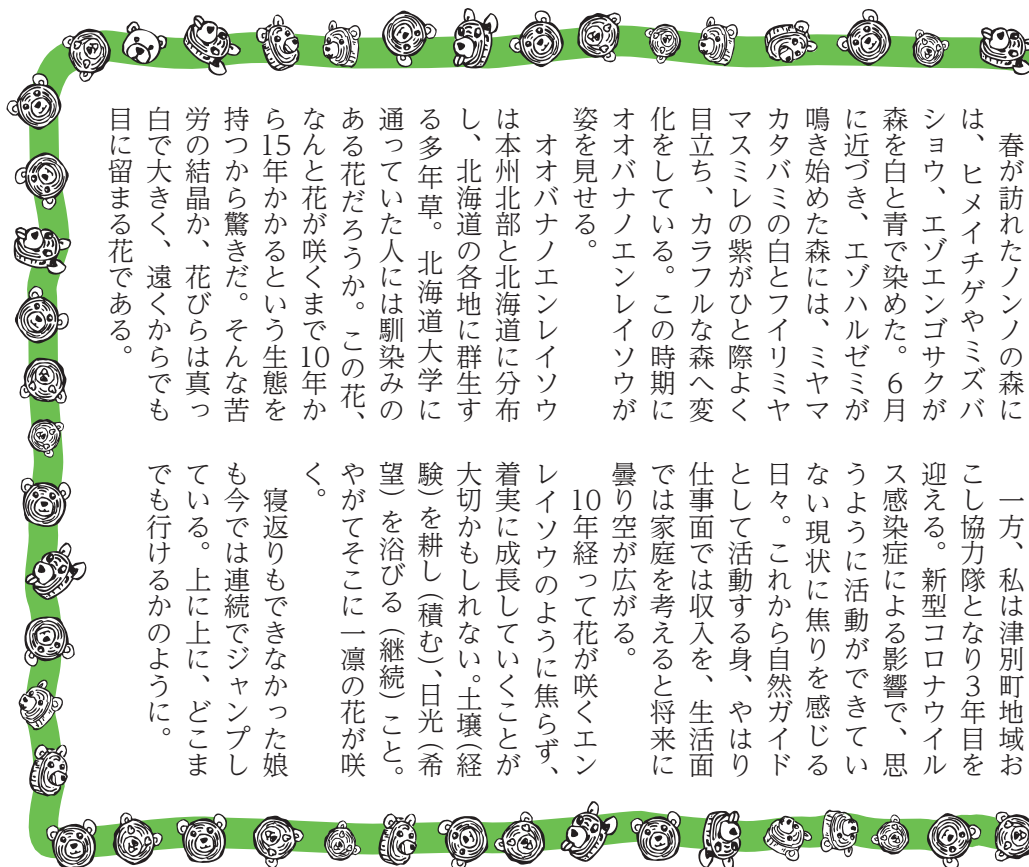
アソビバ! つべつ 「ツリーイング体験」

5月8日、21世紀の森で社会教育事業の「アソビバ! つべつ ツリーイング体験」が行われました。道東ツリーイングクラブの2名を講師に招き、木にかけられたロープを使い、木登りに挑戦しました。

「木に登る～Climbing」、「木から学ぶ～Learning」、「お互いに共有する～Sharing」の3つの意味が込められているツリーイングを通して、参加者は木登りの楽しさを学びました。



道東テレビにて、ツリーイングの様子が配信されています。ぜひご覧ください。



春が訪れたノンノの森には、ヒメイチゲやミズバショウ、エゾエンゴサクが森を白と青で染めた。6月に近づき、エゾハルゼミが鳴き始めた森には、ミヤマカタバミの白とフイリミヤマスマミレの紫がひと際よく目立ち、カラフルな森へ変化をしている。この時期にオオバナノエンレイソウが姿を見せる。

オオバナノエンレイソウは本州北部と北海道に分布し、北海道の各地に群生する多年草。北海道大学に通っていた人には馴染みのある花だろうか。この花、なんと花が咲くまで10年から15年かかるという生え持っから驚きだ。そんな苦労の結晶か、花びらは真っ白で大きく、遠くからでも目に留まる花である。

一方、私は津別町地域おこし協力隊となり3年目を迎える。新型コロナウイルス感染症による影響で、思うように活動ができている現状に焦りを感じる日々。これから自然ガイドとして活動する身、やはり仕事面では収入を、生活面では家庭を考えると将来に曇り空が広がる。

10年経って花が咲くエンレイソウのように焦らず、着実に成長していくことが大切かもしれない。土壌経験を耕し（積む）、日光（希望）を浴びる（継続）こと。やがてそこに一凜の花が咲く。

寝返りもできなかった娘も今では連続でジャンプしている。上に上に、どこまでも行けるかのように。

地域おこし協力隊員が津別町に来て学んだこと感じたことをつづります。

大花延齡草



協力隊3年目。ノンノの森ネイチャーセンターで自然ガイドとして勤務。娘と妻と暮らす。



乃村吉春さんが受章

春の叙勲 旭日双光章(地方自治功労)

5月20日、令和4年春の叙勲で、乃村吉春さん(共和)の旭日双光章(地方自治功労)顕彰状授与式が応接室で行われました。町議会議員として、36年の永きにわたり地域の発展に貢献されたことによる受章です。



グラウンドをきれいに

株NIPPO北網出張所と株円輪建設が整備ボランティア

5月6日、株式会社NIPPO北網出張所と株式会社円輪建設が、無償による小・中学校のグラウンド整備および学校敷地内の清掃活動を行いました。毎年実施されているボランティア活動は、今年で13回目となります。